

Sibata Orange Press



「しばた」
を知って楽しみ、
「新しいしばた」
の町をつくる新聞

令和4年9月25日号
発行所／(有)アミックス
〒957-0018 新発田市緑町2-6-45-7号棟
tel 0254-20-7841 fax 0254-20-7851 http://sop-web.com

ふどうりんごが
今おいしい!
菅谷に
産直あります!
高橋農園
新発田市横山1314
TEL.0254-29-2287
手作りジャムやジュースも販売中!
http://takahashinouen.com/
しばた健康ファーム 検索

二階堂市政3期目の総括と 4期目公約、小林市議が質す

9月9日(金)に開かれた市議会の一階目(9月)で、小林市議が「二階堂市政3期目の総括と4期目の公約について」と題して、二階堂氏に質問した。

小林市議は「二階堂市政の3期目の総括について、産業部門では主に観光振興と農産物の輸出について、子育て(部)ではよく未達成の課題について、教育部門ではエアカンの特別教室・体育館への設置について取り上げた。

二階堂市長は、観光面では令和元年に定住観光圏域でのインバウンド観光客数が1万人を超えたこと、農産物輸出では、開始初年度の平成29年度のコマ輸出25トンに対し平成4年度に306トンに増えたこと、新発田市の輸出が始まったと報告した。

子育て支援では、「通年待機児童ゼロ」を達成・継続していることについて、今後とも私立園としっかりと取り組みたいとした。しかし、「保育料完全無料化については財源を国が負担するという方針が転換されたために2歳児のみを先行して無料化したこと、子育て世代の皆様をはじめ、市民の皆様、市議会議員の皆様に対し深くお詫言ひ申し上げます」と陳謝し、「今後とも実現に向けてあらゆる道を探ってまいります」とした。

特別教室や体育館等へのエアコン設置は、当該施設が災害時に避難所として利用されることが考えられることから、防災面からも多くの議員から要望が出されている。市長は冷房効果・光熱費の面から難しいが、可能な限り対策を講じたいとした。

4期目の公約については、今感に取上げられているSDGs(国連「ユニセフ」による持続可能な開発目標)やDX(インターネット)など、ITC技術導入によって

「時代の波に乗ることが得意、国の動向を見極めて先手先手で対応する市政運営は「新発田方式」と呼ばれて、他市町村からも高く評価されている。自主財源にこそ、経常収支比率が96%、つまり自主財源で独自政策が打ちにくい状況では、国から財源を確保するのが手取り早いのだ。

しかし、10年以上にわたる市政運営で、最近地元紙はほごびが指摘された。一つは、私立と同等等に対する特別委託料の大幅減額提案で、保育士確保などに苦勞する園側の反発を招いたこと。待機児童解消問題で、私立園等に多大な設備投資などを求めた経緯があったからである。

もう一つは、歳入増額案問題で、一昨年6月議会で移築案に付帯施設建設費を盛り込んだ補正予算案が撤回に追い込まれたこと。これは単に「高すぎるのではなく、活用について動態保存と言っただけで具体的な利用方法が明かされなかったことも問題視された。現在活用されていない旧県庁舎の二の舞になるのでは」と危惧されたのである。どちらの問題も「早急に解決策の提示が求められている」。

なお、11月に予定されている次期市長選挙まで9月を切った9月22日(木)現在、小林誠・小柳はじめ両市議の名が取り沙汰されているものの、二階堂氏以外に出馬を表明した候補はいない。

新発田市の未来を子どもたちのためにも選挙戦での活発な論戦が望ましい。



「もう一つの市島邸」 東京・市島邸関連資料の展示

10月15日(土)〜12月25日(日)、天王の市島邸(もう一つの市島邸)が開かれる。10月15日(土)午後1時45分からはせしモノー開催のため、開館は午後2時45分頃から。また、10月16日(日)午前10時と午後2時は早稲田大学講師・藤原秀行氏によるギャラリートークが行われる。開館午前9時〜午後5時12月は午後4時30分、休館毎週水曜日(祝日開館・翌日休)である。

市島邸が建てられたのは大正初期、意匠・設計は市島本家8代目徳次郎である。邸内には「市島塾」という私塾が開設され、多くの駿傑(しゅんけつ)を輩出した。

戦後しばらくして東京・市島邸は早稲田大学の奇蹟され、女子寮として活用されてきたが、老朽化のため2年前に取り壊された。そのとき記録写真が撮られ、この一部が部材は天王・市島邸に運び込まれた。

床の間の意匠は「五階菱」だ。障子に組み込まれているのは「五階菱」の半分で、磨き込まれた櫛の一枚床に反射して菱型が完成する。櫛は向かって左側が谷文晁で、右側の櫛には剥がされた跡があった。



漫画家・寺田ヒロオさんの代表作が切手シートで発売

巻町生まれの新発田育ち、「トキワ荘」のリーダー、スポーツ漫画の先駆者と言われる寺田ヒロオさん(1931〜1992)の代表作「昔番号0」や「スポーツマン佐助」などを配した切手シートが発売された。全800シートで1シート1,170円、下越エリアの全郵便局で扱っている。

コラム

キバナコスモス



事務所の周りに友達がコスモスの種をまいてくれた。7月からほちほち咲きだし、9月には盛りになった▼お陰で殺風景な事務所はぐんと華やかに、毎日楽しませてもらっている▼花色は黄色とオレンジ。色ごとに言葉が違っていて、黄色は「自然美」、オレンジ色は「野生美」だとか。確かにオレンジ色を見ていると元気が出る。それにあやかり、当紙も「新発田オレンジプレス」と名付けたのだ▼東日本大震災に襲われた年で、家も家族も流された漁師たちが、新発田から贈られた船に乗って、サケを獲る姿を取材した。パワーをもたらしたことを思い出す。宮城県雄勝町。本紙第1号に掲載した。もう10年以上も前のことだ▼石巻から北上川を東に進み、トンネルを通過して内湾から外海に臨む船越漁港に向かう峠道、夏のコスモスが揺れていた。ほとんどすべてが流された町で見るオレンジ色も鮮烈だった▼早朝、サケ漁に出た人たちは「負けるものか」とばかり、網を引いていた大漁だ。その後、ある人の息子は漁師となり、ある人はうつ病になったが回復したと聞いた▼「風」よしそれより勁(つよ)し秋萩(中嶋秀子)。どんなに風が強くてもなかなか倒れない。事務所の前のコスモス。先日20日の台風でも倒れなかった。こんなに細いのにと眺めながら、時の流れに瞑目した。

新発田市議会
9月定例会

たび重なる豪雨・冠水災害、このままでは人身事故も！

新発田市議会9月定例会は8月31日（水）に告示され、9月9日（金・12日月）の両日、市長に対する一般質問が行われた。質問に15人が立ち、そのうち新人が5人と全員、女性が3人中2人だった。

内容は、最近頻発している豪雨災害に対する対策についてが、質問の過半数の8人と目立った。2年前の7月末の豪雨以後、防災・減災に対する具体的、実効的対策が実施されていないこと、繰り返し報道される村上市・関川村の災害被害への市民の深刻な危機感を反映したものであった。

また、安倍晋三元首相の銃撃以降、世間の注目を集め続けている世界平和統一家庭連合（旧統一教会）と市・市教育委員会の関係についてたまたま質問が3件あった。これ以外には、五十嵐良一議員のJR西新発田駅南側市有地の利活用についての質問に、市長が積極的に開発したいとの姿勢を示したことが特筆される。

なお、新型コロナウイルス感染症感染者が高止まりしているなかで、感染拡大防止についての質問は1件だった。

令和2年のゲリラ豪雨に対して、私は抜本的対策として中川の排水能力を高めること、越水を防ぐために西名柄・道賀排水機場のリモート運転を提案した。

① 前回質問後の中川流域の水害対策は、ソフト面での防災組織の立ち上げは、二階堂馨市長の答弁

① 抜本的な対策は中川の改修だが、市としては短中期的な対策として、既存雨水幹線の維持管理はもとより、排水ポンプ車導入、市消防団所有のポンプ車活用、田んぼの普及、豊町地下への雨水調整池の設置などを進めている。

また「県に対しては、西名柄・道賀排水機場の設備改修において、ポンプ始動の遠隔操作システムを配備すること、中川川堆積土砂の撤去などを強く要望している。

② 当市の自主防災組織率は91.4%、組織強化のために、今年度から防災機材購入に対する補助金制度を拡充した。補助金の有効活用を促すとともに、地域の防災リーダーの育成、講演会・研修会を通じて防災

組織の強化に取り組み、

① 抜本的対策のみならず、緊急対策もすぐやっつけたい。

二階堂馨市長の答弁

① 抜本的対策、今回は知事に直訴した。私どもが出来ることば、中川の流れの上から排水する工事予算も12月議会に計上する。また、2年前はダメだったが、遠隔操作、来年度から車いす対応のよう。

〔阿部聡議員の再々質問〕

① 上からの排水、越水前には効果があっても越水してしまえば効果が無い。市長の答弁の中に、防災機材の購入に対する補助金制度であった。その中止水板・防水壁は含まれるか。堤防の上に設置するタイプと、店や家屋への浸水を防ぐタイプがある。

〔大滝一仁地域整備課長の答弁〕

① 前段については県と協議する。後段については今後、研究させてもらう。

〔阿部聡議員の再々質問〕

① 他に雨水幹線を再整備する、商業高校辺りから排水路を新設する、いろいろな方法はある。それも含めて研究してもらいたい。また、今後のことは地元の方によく説明・相談を進めていきたい。

古い雨水基本計画が現状の豪雨にあわず、毎月のように洪水被害をもたらしている

〔板倉久徳議員の一般質問〕

大雨による市街地浸水対策について

6月27日、8月3日・4日の降雨で、市内市街地では冠水、通行止め、床下・床上浸水等の被害があった。市街地洪水対策には新潟県による一級河川中田川の改修が急務だが、市としても床下・床上浸水等の被害が出ないよう対策を講じる必要がある。

① 道路冠水被害をなくするための対策は、

② 市街地の雨水基本計画の見直しに対する考え方は、

② 新発田市公共下水道雨水基本計画は平成四年度の策定から30年が経過した。その間、市街地拡大、大規模土地区画整理事業、県立新発田病院移転等、計画内容とかけ離れが生じている。近年の気候変動の影響で、今後も降水量増大が懸念される。これらの状況を踏まえ、今年度から雨水基本計画の見直しに着手した。雨水排水量の精査や既存の雨水幹線の能力などの検証をし、年度内の計画見直し完了を目指す。

抜本的な対策として県に強力に要望を。緊急ではポンプ遠隔操作・止水壁導入を

〔阿部聡議員の一般質問〕

水害対策に本腰を

今年6月27日、8月3日・4日と立て続けに内水氾濫が起きた。五公野・外城・豊田団地・いわい団地（この地区の雨水は最終的に中川に排水される）から豊町・東新町・新富町から緑町に向かい、車が立ち止まっていたので、陸まき水に浸かりながら交通整理した近隣の写真館は店の中に水が浸入、シャッターが壊れた家もあった。その隣の店は現在営業不能として転居した。

旧統一教会及び関連団体行事と市・市教委などとの関係は

〔小柳はじめ議員の質問〕

旧統一教会及び関連団体行事と市・市教委などとの関係

新発田市は新発田教会が2018年に設立した「郷土を元気にする会」の活動の中心地であり、佐々木盛綱や堀部安兵衛などを取り上げる「義人祭や関連する歴史イベント」を毎年のように開催してきた。教会及び関連団体との関連、市長の関与が等について伺う。

① 今年3月26日の「地方生き残りの処方箋」を後援しているが、他に教会関連イベントへの関与や後援掲出等の御墨付を出したイベントはあるか。

② 教会関連イベントへの代理も含め市長の出陣はあったか。市長自身の政治活動ではイベント出席、祝電、メッセージ、出金等があったか。

③ 教育委員会のイベントへの関与及び後援掲出はあったか。

① 赤沼川排水路の整備、中川川増水時に西名柄・道賀排水機場で加治川へ強制排水しているが、排水が間に合わず道路冠水の発生につながっている。まずは現在の施設稼働を阻害しないよう、清掃や勾配調整を継続していく。また、排水ポンプ車活用、市消防団所有のポンプ車活用、新発田地区防災協議会と連携し、情報伝達を迅速化する。

令和2年のゲリラ豪雨に対して、私は抜本的対策として中川の排水能力を高めること、越水を防ぐために西名柄・道賀排水機場のリモート運転を提案した。

① 前回質問後の中川流域の水害対策は、ソフト面での防災組織の立ち上げは、二階堂馨市長の答弁

① 抜本的な対策は中川の改修だが、市としては短中期的な対策として、既存雨水幹線の維持管理はもとより、排水ポンプ車導入、市消防団所有のポンプ車活用、田んぼの普及、豊町地下への雨水調整池の設置などを進めている。

また「県に対しては、西名柄・道賀排水機場の設備改修において、ポンプ始動の遠隔操作システムを配備すること、中川川堆積土砂の撤去などを強く要望している。

② 当市の自主防災組織率は91.4%、組織強化のために、今年度から防災機材購入に対する補助金制度を拡充した。補助金の有効活用を促すとともに、地域の防災リーダーの育成、講演会・研修会を通じて防災

組織の強化に取り組み、

① 抜本的対策のみならず、緊急対策もすぐやっつけたい。

二階堂馨市長の答弁

① 抜本的対策、今回は知事に直訴した。私どもが出来ることば、中川の流れの上から排水する工事予算も12月議会に計上する。また、2年前はダメだったが、遠隔操作、来年度から車いす対応のよう。

〔阿部聡議員の再々質問〕

① 上からの排水、越水前には効果があっても越水してしまえば効果が無い。市長の答弁の中に、防災機材の購入に対する補助金制度であった。その中止水板・防水壁は含まれるか。堤防の上に設置するタイプと、店や家屋への浸水を防ぐタイプがある。

〔大滝一仁地域整備課長の答弁〕

① 前段については県と協議する。後段については今後、研究させてもらう。

〔阿部聡議員の再々質問〕

① 他に雨水幹線を再整備する、商業高校辺りから排水路を新設する、いろいろな方法はある。それも含めて研究してもらいたい。また、今後のことは地元の方によく説明・相談を進めていきたい。

旧統一教会及び関連団体行事と市・市教委などとの関係は

〔小柳はじめ議員の質問〕

旧統一教会及び関連団体行事と市・市教委などとの関係

新発田市は新発田教会が2018年に設立した「郷土を元気にする会」の活動の中心地であり、佐々木盛綱や堀部安兵衛などを取り上げる「義人祭や関連する歴史イベント」を毎年のように開催してきた。教会及び関連団体との関連、市長の関与が等について伺う。

職塚税務会計事務所 新発田市大栄町 7-1-6 TEL.0254-23-2222	茨木建設(株) 新発田市長堀 284-1 TEL.0254-23-6851
飯豊電設工業(株) 新発田市豊町 2-18-5 TEL.0254-24-2134	新発田ニユール プラザホテル 新発田市豊町 1-9-29 TEL.0254-26-3131
(株)伊藤組 新発田市島湯 1273-1 TEL.0254-22-4176	新発田建設(株) 新発田市富塚 1942 TEL.0254-27-5711
(株)イノウエ 新発田市新栄町 1-3-2 TEL.0254-22-4056	しばたパッカーズ(株) 新発田市奥山神保 427 TEL.0254-22-2334
(株)岩村組 新発田市大手町 4-3-21 TEL.0254-20-5550	島津印刷(株) 新発田市富塚 1419 TEL.0254-27-2101
SODデザイン 高橋智志 新発田市緑町 2-17-26 TEL.0254-24-5121	(株)新和組 新発田市米倉 1287 TEL.0254-28-5011
小野寺税務会計事務所 新発田市大栄町 2-7-7 TEL.0254-22-3497	大進電業(株) 新発田市佐々木 1895-9 TEL.0254-21-5000
(株)下越道路 新発田市新富町 1-1-5 TEL.0254-23-2296	(株)大通 新発田市舟入町 1-12-5 TEL.0254-26-1191
(有)クサカベモーターズ 新発田市五十公野 4836 TEL.0254-22-6311	フジマ舗道(株) 新発田市島湯 4197-3 TEL.0254-26-5030
(株)こじまホールディングス 新発田市中央町 3-5-12 TEL.0254-26-3381	扶桑畜産(有) 新発田市米倉字島越 4666-1 TEL.0254-28-5136
小林税務会計事務所 新発田市中央町 5-4-27 TEL.0254-22-2705	山田建設(株) 新発田市大友 3856 TEL.0254-25-0700
小柳産業(株) 新発田市八幡新田 416 TEL.0254-22-7010	(株)安田組 新発田市豊町 4-3-39 TEL.0254-24-1761

介護老人 福祉施設 陽だまり苑 新発田市岡田 1746-1 TEL.0254-20-3800	(株)オオヌマ 新発田市五十公野 3969 TEL.0254-22-2223
複合型 福祉施設 コンフィ陽だまり苑 新発田市岡田110-38 TEL.0254-24-1111	尾田建設 新発田市荒町甲 47 TEL.0254-22-4200

割烹 あまや
新発田市御幸町1丁目1の1
☎(0254)22-2102(代)

堀部安兵衛ファン待望の出版 // A4・オールカラー・84頁

武庸会百周年記念誌

新発田人なら一家に一冊

- ◆堀部安兵衛略伝
- ◆堀部安兵衛の家紋
- ◆中山家と長徳寺
- ◆義士堂の天井画
- ◆元禄赤穂事件
- ◆安兵衛文庫
- ◆堀部安兵衛武庸家系図
- ◆武庸会百年の歩み
- ◆義士堂の木像とその由来
- ◆芸能にみる安兵衛と忠臣蔵
- ◆安兵衛観光マップ
- ◆堀部安兵衛資料など

頒布所：新発田市観光協会 新発田市諏訪町 1-2-11
TEL.0254(26)6789

頒布価 1000円

④ 関連イベントに対する市や教委の関与に対しての検討がなされている。
 ⑤ 市長は過去の選挙時に教団からの金銭的、人的な支援があったか。
 二階堂市長の答弁

① 市が共催又は後援する場合、「新発田市の共催及び後援に関する事務取扱要綱」に基づいて審査承認の可否を決定する。同要綱第3条第2項に、宗教的又は政治的色彩を有する事業には共催及び後援しないとしている。令和4年3月26日の「地方生き残りの処方箋は審査の結果、宗教的又は政治的色彩を有するものではなく、承認の基準を満たしていることから後援を決定した。その他「郷土を元気にする会」主催のイベント4件も同様の理由から後援を承認している。
 ② 該当する事例はないが、私が出席したイベントの実行委員会に宗教法人世界平和統一家庭連合が参画している事例があった。また「祝電メッセージ」出金についても、そ

③ 令和2年から3年間で「郷土を元気にする会」に後援承認した。来賓案内をもちいた公務の都合で欠席した同様の案内をもちいた市歴史図書館職員は出席した。
 ④ 共催及び後援に関する事務取扱要綱で、宗教的又は政治的色彩を有するものは承認しないと規定している。事業実施者に宗教関係者が含まれているかをもって判断するのではなく、実施内容が宗教的内容を有するかによって承認を決定すべきものと考えている。「郷土を元気にする会」関連イベントも基準に照らして適切に判断した。

JR西新発田駅南口を整備し、安全確保と交通渋滞の解消を

〔五十嵐良一議員の質問〕
 — 西新発田駅南側市有地の活用について —
 西新発田駅南側(養口・豊浦側)の市有地を活用し、渋滞緩和ができないか、提案する。駅南側にはすでに改札口が設置されている。また、バイパス工事も進められていて、完成すると駅南側の需要も高まる。駅南側に投資すべき条件は十分揃っている。
 ① 西新発田駅南側(養口・豊浦側)と市道西新発田駅南側花線の間にある市有地を舗装整備し、駅前広場(ロータリー)として活用できないか。
 二階堂市長の答弁

① 近年、周辺の開発が進み、交通量も増えた。交通安全を含め、車両等の分散化は有効な手段だ。また、はし整備も進められて

④ 政教分離の原則から、宗教的色彩を有する事業については厳密に出席の判断をしている。
 ⑤ 後援会に確認したところ、金銭的、人的支援をしたことではなく、3期目の選挙の際に電話対応のお手伝いの申し出があり、お礼としてであった。報告を受けている。
 二階堂市長の答弁

③ 令和2年から3年間で「郷土を元気にする会」に後援承認した。来賓案内をもちいた公務の都合で欠席した同様の案内をもちいた市歴史図書館職員は出席した。
 ④ 共催及び後援に関する事務取扱要綱で、宗教的又は政治的色彩を有するものは承認しないと規定している。事業実施者に宗教関係者が含まれているかをもって判断するのではなく、実施内容が宗教的内容を有するかによって承認を決定すべきものと考えている。「郷土を元気にする会」関連イベントも基準に照らして適切に判断した。

③ 令和2年から3年間で「郷土を元気にする会」に後援承認した。来賓案内をもちいた公務の都合で欠席した同様の案内をもちいた市歴史図書館職員は出席した。
 ④ 共催及び後援に関する事務取扱要綱で、宗教的又は政治的色彩を有するものは承認しないと規定している。事業実施者に宗教関係者が含まれているかをもって判断するのではなく、実施内容が宗教的内容を有するかによって承認を決定すべきものと考えている。「郷土を元気にする会」関連イベントも基準に照らして適切に判断した。

③ 令和2年から3年間で「郷土を元気にする会」に後援承認した。来賓案内をもちいた公務の都合で欠席した同様の案内をもちいた市歴史図書館職員は出席した。
 ④ 共催及び後援に関する事務取扱要綱で、宗教的又は政治的色彩を有するものは承認しないと規定している。事業実施者に宗教関係者が含まれているかをもって判断するのではなく、実施内容が宗教的内容を有するかによって承認を決定すべきものと考えている。「郷土を元気にする会」関連イベントも基準に照らして適切に判断した。

③ 令和2年から3年間で「郷土を元気にする会」に後援承認した。来賓案内をもちいた公務の都合で欠席した同様の案内をもちいた市歴史図書館職員は出席した。
 ④ 共催及び後援に関する事務取扱要綱で、宗教的又は政治的色彩を有するものは承認しないと規定している。事業実施者に宗教関係者が含まれているかをもって判断するのではなく、実施内容が宗教的内容を有するかによって承認を決定すべきものと考えている。「郷土を元気にする会」関連イベントも基準に照らして適切に判断した。

③ 令和2年から3年間で「郷土を元気にする会」に後援承認した。来賓案内をもちいた公務の都合で欠席した同様の案内をもちいた市歴史図書館職員は出席した。
 ④ 共催及び後援に関する事務取扱要綱で、宗教的又は政治的色彩を有するものは承認しないと規定している。事業実施者に宗教関係者が含まれているかをもって判断するのではなく、実施内容が宗教的内容を有するかによって承認を決定すべきものと考えている。「郷土を元気にする会」関連イベントも基準に照らして適切に判断した。

加賀市と友好都市30周年、「友人」として新たな時代へ

③ 令和2年から3年間で「郷土を元気にする会」に後援承認した。来賓案内をもちいた公務の都合で欠席した同様の案内をもちいた市歴史図書館職員は出席した。
 ④ 共催及び後援に関する事務取扱要綱で、宗教的又は政治的色彩を有するものは承認しないと規定している。事業実施者に宗教関係者が含まれているかをもって判断するのではなく、実施内容が宗教的内容を有するかによって承認を決定すべきものと考えている。「郷土を元気にする会」関連イベントも基準に照らして適切に判断した。

③ 令和2年から3年間で「郷土を元気にする会」に後援承認した。来賓案内をもちいた公務の都合で欠席した同様の案内をもちいた市歴史図書館職員は出席した。
 ④ 共催及び後援に関する事務取扱要綱で、宗教的又は政治的色彩を有するものは承認しないと規定している。事業実施者に宗教関係者が含まれているかをもって判断するのではなく、実施内容が宗教的内容を有するかによって承認を決定すべきものと考えている。「郷土を元気にする会」関連イベントも基準に照らして適切に判断した。

③ 令和2年から3年間で「郷土を元気にする会」に後援承認した。来賓案内をもちいた公務の都合で欠席した同様の案内をもちいた市歴史図書館職員は出席した。
 ④ 共催及び後援に関する事務取扱要綱で、宗教的又は政治的色彩を有するものは承認しないと規定している。事業実施者に宗教関係者が含まれているかをもって判断するのではなく、実施内容が宗教的内容を有するかによって承認を決定すべきものと考えている。「郷土を元気にする会」関連イベントも基準に照らして適切に判断した。

③ 令和2年から3年間で「郷土を元気にする会」に後援承認した。来賓案内をもちいた公務の都合で欠席した同様の案内をもちいた市歴史図書館職員は出席した。
 ④ 共催及び後援に関する事務取扱要綱で、宗教的又は政治的色彩を有するものは承認しないと規定している。事業実施者に宗教関係者が含まれているかをもって判断するのではなく、実施内容が宗教的内容を有するかによって承認を決定すべきものと考えている。「郷土を元気にする会」関連イベントも基準に照らして適切に判断した。

③ 令和2年から3年間で「郷土を元気にする会」に後援承認した。来賓案内をもちいた公務の都合で欠席した同様の案内をもちいた市歴史図書館職員は出席した。
 ④ 共催及び後援に関する事務取扱要綱で、宗教的又は政治的色彩を有するものは承認しないと規定している。事業実施者に宗教関係者が含まれているかをもって判断するのではなく、実施内容が宗教的内容を有するかによって承認を決定すべきものと考えている。「郷土を元気にする会」関連イベントも基準に照らして適切に判断した。

花嫁人形

合唱コンクール

新潟大会

～虹児のふるさと 新発田のうたまつり～

一日時
 令和4年 10月9日(日)
 13:00開演 (12:30開場)

会場
 新発田市民文化会館

入場料
 無料 (ただし入場整理券が必要)
 ※未就学児の入場はご遠慮願います

審査員
 池辺 晋一郎 (東京音楽大学名誉教授) 作曲家
 後藤 丹 (上越教育大学名誉教授) 作曲家
 鈴木 愛美 (新潟大学音楽科准教授) 声楽家

演奏曲
 ◆ 課題曲: 「花嫁人形」 (無件またはピアノ伴奏付)
 作曲: 露谷 虹児
 作詞: 露谷 虹児
 作曲: 杉山長谷夫
 編曲: 池辺晋一郎
 ◆ 自由曲: 任意の合唱曲

参加団体(演奏順)
 ◆ Vocal Ensemble Keiwa(新潟市)
 ◆ カンパール(新潟市)
 ◆ 女声合唱「花菜の会」(新発田市)
 ◆ アンサンブル・ロゼ(新潟市)
 ◆ 歌和学園高等学校混声合唱部(新潟市)
 ◆ S.Y.Domptious(燕市)

令和4年度の全国「花嫁人形」合唱コンクールは、新型コロナウイルス感染防止の観点から新潟県内の参加に限定した特別開催「新潟大会」として開催します。

鹿谷虹児記念館 無料開放
 10月9日(日)
 午前9時から午後5時 (午後4時30分までに入館をお願いします)
 ※文化会館と隣接していますので、合唱コンクールと併せてご覧ください。

(主催)新発田市、全国「花嫁人形」合唱コンクール実行委員会
 (問合せ)新発田市民文化会館 新発田市民中央4-11-7 ☎26-1576



③ 令和2年から3年間で「郷土を元気にする会」に後援承認した。来賓案内をもちいた公務の都合で欠席した同様の案内をもちいた市歴史図書館職員は出席した。
 ④ 共催及び後援に関する事務取扱要綱で、宗教的又は政治的色彩を有するものは承認しないと規定している。事業実施者に宗教関係者が含まれているかをもって判断するのではなく、実施内容が宗教的内容を有するかによって承認を決定すべきものと考えている。「郷土を元気にする会」関連イベントも基準に照らして適切に判断した。

周年祭

10/7(金)~9(日) 松崎店

同時開催! 甘みと香りが最高!
新高マルシェ

TON TON
 ●新発田市 9:00~18:00
 新発田市荒町1480 ☎0254-20-2229
 ●松崎店 9:00~19:00
 新潟市東区新松崎1-6-14 ☎025-274-2229

市展

第51回
**新発田市
 美術展覧会**
 併催: 第50回
 新発田市ジュニア展

令和4年 10月15日(日)~19日(水) 午前9時から午後6時 (最終日は午後3時まで)

会場 **新発田市カルチャーセンター** 本町4丁目16番83号

さまざまな分野の作品が一堂に会する、新発田市で最大規模の美術展覧会「第51回新発田市美術展覧会(市展)」と「第50回新発田市幼児・小・中学校美術展(市ジュニア展)」を開催します。今年で第50回を迎える市ジュニア展は、市内に在住・在園・在学している3歳児以上の幼児と小・中学生から応募のあった作品を「子ども絵画展」として展示します。力作ぞろいの「市展」と「子ども絵画展」にぜひご来場ください。

展示内容
 ▶市展: 日本画、洋画、版画、彫刻・造形、工芸、書道、写真、華道
 ▶ジュニア展「子ども絵画展」: 市内の3歳児以上の幼児と小・中学生から応募のあった絵画
 ▶公民館子ども交流体験事業「オムレツクラブ」: 伝統文化コースの華道作品も展示します

(主催)新発田市、新発田市教育委員会、新発田市美術展覧会運営委員会 (共催)新発田市文化団体連合会 (特別協賛)新発田美術振興財団 (後援)新潟日報社、毎日新聞新潟支局、朝日新聞新潟総局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、エフエムはた

(問合せ)新発田市文化行政課文化芸術振興室(新発田市民文化会館事務室内) ☎0254-26-1576

さあ！毎週金曜日は **陽だまり苑 ふえりあ** へ行こう！

Friday 金曜日
ふらいデー教室 10月のご案内

7日(金) 10:00~11:30

きらきら体操
血行促進！リズム体操

料金 200円

持ち物：内履き
飲み物



体操の後はカフェで
ティータイム

14日(金) 10:30~11:30

おなか健康教室
～健「腸」長寿～

講師 新発田ヤクルト販売様

参加費 無料

今話題の「うんち」の話を中心に、健康と乳酸菌の関わりについて学びながら楽しく身体を動かしましょう。



嬉しい
お土産付き！

健康な「うんち」って？

お腹には
菌がいっぱい！？

21日(金) 10:00~11:30

きらきら体操
筋力アップ+脳トレ体操

料金 200円

ケガをしない
体づくりを
目指します！

持ち物：内履き
飲み物



体操の後はカフェで
ティータイム

28日(金) 10:00~11:30

異文化カフェ
～インドネシア編～

料金 500円

予約(先着順) 20名

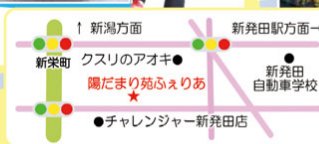


本場のインドネシア料理
と共に、文化や食について
お話しします。



私たちが作ります

開催日の前日までに
お申し込みください **陽だまり苑 ふえりあ** ☎20-8283
新発田市富塚町2-4-13



五十公野から **赤谷** への道
街道沿いに伝えられた暮らし



10/1土 → 12/25日

- ▶講演会(博物館を知る講座)
「博物館と学芸員」
11/26(土) 13:30~15:00
講師 / 新潟県立歴史博物館 経営企画課課長代理 山本哲也氏
- 定員 / 25名(申込み先着順) ●参加費 / 無料
- 対象者 / どなたでも
- 集合場所 / 歴史図書館 2階会議室
- ※申込み受付 11/1(火)~11/25(金)
当館へ電話または直接事務室へ
- ▶ギャラリートーク
当館職員による展示解説
10/1(土)、11/5(土)、12/3(土)
11:00~11:30 13:00~14:00
※申込み不要。1階展示室1へお越しください。
- ▶城下町まち歩き(札の辻編・外ヶ輪編)
江戸時代の町絵図を手掛かりに歴史散策をしませんか？
- ①札の辻編 10/8(土) 13:30~16:00(終了予定)
- ②外ヶ輪編 11/12(土) 13:30~16:00(終了予定)
- 定員 / 15名(申込み先着順) ●参加費 / 200円(当日徴収)
- 対象者 / どなたでも
- 集合場所 / 歴史図書館 2階会議室
- ※申込み受付 ①9/25(木)~10/7(金)
②11/1(火)~11/11(金)まで
当館へ電話または直接事務室へ

新発田市立歴史図書館 新発田市中央町 4-11-27 ☎0254-24-2100

この度発見され76年ぶりに公開となる、幻の虹児 画「雪模様」



落谷虹児記念館
開館35周年記念展

2022.8.9(火) ▶ 12.11(日) 9:00~17:00
(入館受付16:30まで)

【休館日】月曜定休(但し9/19敬老の日、10/10スポーツの日は開館し翌平日休館)
【入館料】一般・大学生510円(団体20名様以上410円)
高校生210円、小・中学生110円(税込)

落谷虹児記念館は1987年7月1日、「開館記念展 落谷虹児抒情画の世界」の開幕とともに開館しました。開館以来、当館は多彩な落谷虹児の作品に関わる独自のテーマの展覧会を多く開催してきました。また、落谷虹児自身の作品を核に、これまでに約3,000点を数える関連作品を収集し、落谷虹児コレクション(所蔵品)展や企画展、教育普及事業などで紹介してまいりました。本展覧会では、2022年7月に開館35周年を迎えた落谷虹児記念館そのものに焦点を当てます。この美術館の原点ともいえる開館前後の活動、内井昭蔵の設計による美術館建築など様々な視点から35年間の活動を紐解きます。

落谷虹児記念館 〒957-0053 新潟県新発田市中央町4-11-7
電話&FAX 0254-23-1013